

3. 社会調査士の資格取得—資格制度設置校—

1. 社会調査士とは

社会調査士とは、世論調査や市場調査など、いわゆる社会調査を実施するための知識、技能を修得したと認定された人に与えられる学部卒業レベルの公的な資格です。様々な組織・集団が社会の状況や人々の意識を把握したり、政策を立てたり、意思決定をするために実施する様々な社会調査の専門家です。とくに、環境科学科を卒業してこの資格を取得した人は、地域環境調査および住民や地域の環境に対する意識調査・実態調査等の専門家としての活躍が期待できます。

この資格は、学術団体である日本教育社会学会、日本行動計量学会、日本社会学会の3つの学会が協力して大学における社会調査教育の水準向上とこの分野における優れた人材育成をめざして2003年に発足しました。

その後、2008年に独立した「一般社団法人 社会調査協会」が設立されて今日に至っていますが、協会の運営と活動は、これら3学会を中心とする日本における社会調査の学術研究者集団によって担われています。現在、約300の大学・学部などの機関が、この制度に参加しています。

本学も資格制度設校として、資格取得に必要な所定の科目の単位を修得して申請すれば、卒業後に社会調査士の認定証が協会から交付されます。なお、認定手数料は16,200円（見込み資格無取得者）です。

2. 資格取得のために

生命・環境科学部環境科学科は、2008年度からこの制度に参加し、一般社団法人 社会調査協会から社会調査士資格を取得できる機関として承認されています。下表科目の単位を取得できた人は、大学が協会に申請して社会調査士資格を卒業後に取得できます。個人での資格申請は認められていません。

資格認定を希望する人は、下表科目を単位取得後に、資格参加校連絡責任者（大倉健宏教授）を通じて資格申請を行います。4年次後期に指定した日程で申請に関する説明会を実施するので、必ず出席しなければなりません。

社会調査士の認定基準として、必修7科目を設定しています。資格認定に関わる指定科目は次のようなものです。具体的な授業内容等はシラバスを参照してください。

社会調査士必修科目（これらの科目についてはすべて修得すること）
（平成27～30年度入学者）

科 目 区 分	科 目 名	単位数	配 当 年 次		
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	環境調査入門	2	1年次	前期	必修
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法	2	1年次	後期	選択
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	基礎統計学・同演習	2	1年次	前期	必修
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	環境・衛生統計学	2	2年次	前期	必修
【E】量的データ解析の方法に関する科目	開講せず				
【F】質的な分析の方法に関する科目	地域コミュニティ論	2	2年次	後期	選択
【G】社会調査の実習を中心とする科目	環境調査実習	1	3年次	前期	選択
	環境影響評価学・同実習	2	3年次	後期	必修

(2019～2020 年度入学者)

科 目 区 分	科 目 名	単位数	配 当 年 次		
			1年次	2年次	3年次
【A】社会調査の基本的事項に関する科目	環境調査入門	2	1年次	前期	必修
【B】調査設計と実施方法に関する科目	社会調査法	2	1年次	後期	選択
【C】基本的な資料とデータの分析に関する科目	基礎統計学・同演習	2	1年次	前期	必修
【D】社会調査に必要な統計学に関する科目	環境・衛生統計学	2	2年次	前期	必修
【E】量的データ解析の方法に関する科目	開講せず				
【F】質的な分析の方法に関する科目	地域コミュニティ論	2	2年次	後期	選択
【G】社会調査の実習を中心とする科目	環境調査実習	1	3年次	後期	選択
	環境影響評価学・同実習	2	3年次	前期	必修

なお、3年次以上で上の表のA～Gのうち3科目以上の単位を取得し、履修中の科目と合わせて5科目以上ある人は、卒業前に「社会調査士（取得見込み）」として申請することもできます（見込み認定手数料 16,200 円）。さらに、卒業後に資格変更手数料 5,400 円（見込み資格取得者）を支払い申請をすれば、正規の資格に変更可能です。

詳細は、一般社団法人 社会調査協会のホームページを参照するか、下記の資格参加校連絡責任者に問合せてください。

< 社会調査士資格参加校連絡責任者 >

環境科学科：大倉健宏教授（専門社会調査士 第 000064 号）

<http://www.jasr.or.jp/students/qa.html>